木之本ライオンズクラブ情報

第 113 号

題字
昭和41年5月 滋賀県知事 故 谷口久次郎殿

七本槍

平成18年7月18日発行
木之本ライオンズクラブ
広報・情報・会報編集委員会
発行所
滋賀県伊香郡木之本町木之本
伊香郡民会館2Fクラブ事務局
TEL.木之本(0749)82－5425

～会長に就任して～
「共感&共生」を胸に！

会長 L 藤田暢彦

平成十八年度、第四十三代会長を仰せつかり、ご挨拶を兼ね所信を申し上げます。

当LCは、今年二月に千回目の例会を迎え、CMの田中達雄Lから結成当初の苦労話をお聞きいたしました。その折、当クラブの古い歴史と伝統に触れ「初心に戻り、これまでの先輩諸兄の功績を損なわないよう努めなければ！」と決意をあらたにいたしました。

とは言え、あまり気負わず自然体で柔軟に対応いたしたく存じますので、宜しくご指導ご協力のほどお願いいたします。

まず、今年度の木之本LCのスローガンとして「共感&共生」を掲げたいと思います。

モノの豊かさからココロの豊かさを求める時代となり「心に訴えないと何も進まない時代」といわれていますが、LCも地域社会からの共感が得られなければ会員増強もままならない情勢になっています。

そして、先行き不透明な時代には、家族の協力、LCメンバー相互の、そして、地域社会や自然との共生が大切です。

そんな思いから「共感&共生」をスローガンに一年間、精進いたしたいと存じます。

基本方針としては、初心に戻り「LIONSの語源を大切にしたい」と考えております。

ライオンズの頭文字は、L…自由を守り、I…知性を重んじ、O…我々の、N…国の、S…安全を図るという高邁な理想を掲げており、今年度は、「知性を重んじ」にウエイトをおき例会やACTを展開したいという思いを持っています。これは、七十二歳にして有名大学に入学した田辺茂樹Lを輩出した当LCとしての誇りからです。

といっても、いつも堅苦しい例会では長続きしませんので、奉仕ACTの傍ら、やはり、クラブは、「倶に楽しむ部」として、楽しい例会にしていきたいと思っています。

次に、委員会毎に、日頃感じている所感を述べさせていただきます。

まず、計画委員会は、例会にゲスト・会員スピーチや意見交流会を取り入れ、お互いの教養を高める場にしていただき、また、ある時は愉快な例会をとメリハリをつけた例会を計画していただければと思います。更にLC活動には家族の理解と協力が不可欠であり、家族参加の例会もお願いします。

次に、会員・会則委員会は、「会員増強特別委員会」を再編成していただき、これからのLCを引き継いでくれる後継者を一人でも多く勧誘していただきたいと考えております。

財務委員会は、中央は景気回復の兆しが見えてきていますが、地方はまだまだ低迷しており、また、会員数も減ってきていることでもあり、「入りを図り出を制す」の言葉通りに収支両面からの見直しをお願いいたします。

広報情報委員会は、「七本槍」の会報発行にとどまらず、計画委員会と連携して、外部に向ってACT等の広報活動に努めていただき、地域社会から共感を得ることによって会員増強を図る後押しをお願いしたいと思います。

教育委員会は、青少年の健全育成の一環として「少年スポーツ交流会」を伝統あるACTとしてこれからも継続するよう、ひと工夫をお願いします。

保健委員会は、主に、献血当番制の徹底を、環境福祉委員会は、自然との共生の趣旨に沿って「ふれあいの森」の有効活用を「継続こそ力なり」の信念で取り組んでいただきたいと考えております。

以上、各委員会へのお願いになりましたが、LC会長はリーダーというよりも、むしろ、一年間の顔と受け止めていただき、あくまでも主役はLCメンバー一人ひとりであり、自ら考え行動していただくことを切にお願いして、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

委員長方針

■会員・出席・会則委員会

委員長 L 田中達雄

会員・出席・会則委員会としての活動方針は会員の増強あるのみ。しかし、現在の社会情勢、特に経済の状況は景気が回復しつつある様に報じられておりますが、私達の肌で感じる様な事はなく、まだまだ厳しい環境にあると思います。この様な状況下で会員の増強は非常に困難と思われますが、当委員会と致しましては一人でも多くの人が入会される様努力をしなければならない。そこで会長の所感にもあります様に「会員増強特別委員会」を再度編成を致し、特別委員長には私の独断専行で誠に失礼かと存じますが、L藤田毎馬に宜しくお願い致します。

尚、会員の増強に付きましては当委員会だけではなく、クラブ員全員のご協力がなければ当然所期の目的を達成することは出来ないと思います。是非ともメンバー各位の格別のご協力を切にお願い申し上げます。

■計画委員会

委員長 L 中筋光芳

計画副委員長に任命された時から一年後には計画委員長になる事は判っていた訳ですが、やはり少々気が重いのは素直な気持です。

前年度中村委員長の元で各例会の手伝いを少々させていただきました。中村さんはもとより各歴代委員長の忙しさ、手配、旅行などでの気配り、マメな行動を拝見させていただいていますと例会の企画係であるとつくづく思います。幸い委員会の中に委員長経験者の方が何人もおられるので、いろいろ相談できます事は良かったと思います。

先日は次期役員会でさっそく例会の新提案をいただきました。酒の席でもあり大変盛り上りました。出来る出来ないは別にして会員の皆さんが積極的に提案して下さる事は大変うれしく心強く思います。厳しい経済情勢の中、まず会員の皆さんが例会を楽しんでもらう事が第一儀と考えております。一年間力がおよばない事があると思いますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

■財務委員会

委員長 L 千田定剛

財務委員会としての方針は、本年度の会長方針の中にあります継続事業の見直しという点を考えていきたいと思います。

会員の皆さんにはお分かりのように、事業費会計は会員のドネーションで運営されているのですが、当クラブの現状を見ますと正会員の減少等、ドネーションが減る方向にあり、このまま継続事業を進めていくことは難しくなると思われます。そこで継続ACTの中でもLCの目的でもあります青少年育成ACT等は別として、労力ACTを伴わない金銭のみのACTの見直しは必要になるかと思います。しかし個々に考えると難しい点も多々ありますので、今後会長さん等とよく相談しながら進みたいと思いますので、会員各位のドネーションへの御協力をお願いします。

■広報、情報、会報編集委員会

委員長 L 大林利男

「七本槍」の会報発行にて、クラブの歴史が刻まれ記録として残ります。しかし、外へのPR等について考えますと、役にたってはいないように思われます。数年前から外へのライオンズクラブのPR活動については、課題でありました。自己満足のクラブでなく、広く地域社会にお役にたてる、又、会員及びこれから入会していただく人達にも、魅力あるクラブにしていくには